

浜松市議会議長 渥美 誠 様



2026 年 7 月 31 日

「子どもの命を守るための保育施策の充実」を求める陳情書
—子どもにも保護者にも安全・安心な保育の提供を—

団体名 浜松市保育団体連絡会
所在地 [REDACTED]
代表者 中村 真由香 [REDACTED]

陳情趣旨

すべての子どもたちは幸せに生きる権利があります。全国的にも出生率が低下する中、浜松市の宝である今を生きる子どもたちを豊かに育てることは、私たち大人の責任であり、よりよい保育を次世代の子どもたちに残していくことは、社会の責任です。

浜松市では保育士不足を受け、質の高い人材を安定的に確保できる体制の整備のため、令和 8 年 10 月に保育士保育所支援センターの設置を、委託事業を通じて開設する予定です。しかし、人材確保の窓口を整備するだけでは保育士不足は改善しません。

保育現場では集団保育における個別の関わりの重要性が増しています。子どもたち一人ひとりの成長に寄り添い、しっかりと「手をかけてあげたい」という保育士の願いを実現するためには、手厚い基準の見直しが必要です。

各園では基準以上に保育士を配置し、安全で丁寧な保育に向けて努力していますが、限られた収入で人手を増やすことは給与水準の低下につながります。それが、保育現場の人手不足の大きな要因になっています。

浜松市が政令市の中でも上位の補助金を支出していただいているのも承知し、感謝しています。しかし、この間の国や市の様々な改善は、私たちの日々の努力に制度が追いついてきたという認識であり、十分ではないと考えます。

子どもたちの安全な保育環境を守り、より質の高い保育を継続するため、以下の項目について迅速な改善を要望いたします。

陳情項目

- ・ 保育の質の向上・安全確保のために、現場にもう一人保育士を配置できるよう、予備保育士補助金の加配人数を、2 人から 3 人に補助対象を拡充してください。